



EVRI 教育ビジョン研究センター

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。

定例セミナーNo.19： アクションリサーチ の理論と事例に関する セミナーを開催 しました



活動日時 2019年4月24日(水)

活動従事者 金鍾成, 久保美奈 (M2), 青本和樹 (M2), 篠田裕文 (M2), 木下博義



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター(EVRI)」は、教育の専門家ユニットの教育研究者クラスターに関連し、2019年4月24日(水)に第19回定例セミナーを開催しました。

本セミナーでは、EVRIメンバーの金助教(社会認識教育学講座)と大学院生らが、共同で実施したアクションリサーチを事例に「アクションリサーチの理論と実際-なぜ、どのように、自らの実践(action)を研究(research)するか-」というテーマで発表されました。

第1部は、金先生による「教師のActionとはなにか、それをResearchするとはなにか、Reflectionとの違いはなにか」といった問いかけから始まり、アクションリサーチの理論について説明がありました。その中で、授業開発・改善への問題解決は目的ではなくプロセスであり、その根本には教

科教育学の潜在力を発揮するという哲学が存在しているという立場を述べられました。

第2部は、批判的パトリオティズムを題材としたアクションリサーチを行った社会認識教育学講座の院生の久保美奈さん、青本和樹さん、篠田裕文さんが、授業デザインと洗練のナラティブやそのなかでの生徒の学びについて発表してくださいました。

討論者の木下博義准教授(教職開発講座)は、この発表が「アクションリサーチの1つのモデルになる」と評価した上で、授業改善を目的とするものや仮説を立てるものなど別のあり方も提言されました。質疑応答では、アクションリサーチの捉え方が教科や専門立場で相違がみられることが浮き彫りになり、分析対象の範囲や研究の問いの立て方などについて白熱した議論になりました。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : evri-info@hiroshima-u.ac.jp

URL :

http://evri.hiroshima-u.ac.jp/

EVRI HP/Facebook

